



地域看護学教室

Department of Community Health Nursing

facebook 始めました

facebook



「保健・医療のシステム、一緒に変えてみませんか？」

- ・ コミュニティ（人の集まりや土地の区切り）をよく観察し、そこにあるシステムを変えることは、そこに関わる全ての人に影響を与えます
- ・ 私たちは、効率性が高く、そのコミュニティにぴったりのシステムを作り上げることで、あらゆる場所のあらゆる人々の健康を支援します

実際、何をやっているの？

第1フェーズ

コミュニティの実態を探偵のように調査！



▷ 地図を片手にその土地を歩いて調査



▷ コミュニティの人々の健康状態や生活状況を聞き込み・調査

何を調べるのかというと・・・



第2フェーズ

コミュニティの課題／問題の原因を特定！



▷ 集めたデータを分析！基礎・社会・看護科学の理論と知識を使って、コミュニティが抱える課題や問題の原因を探り当てます

▷ 解析結果を洗練、現実社会の真実に迫っていきます



第3フェーズ

改善策・新システムの考案と実践・普及！

▷ コミュニティの人々と協力して、実現可能で効果的な改善策・システムを作りだします



▷ 考えた改善策・システムを実際に試行して、改善したり普及したりしていきます



- ・ あらゆる分野のあらゆる健康問題を扱い、社会への提案を続けています
- ・ これまでの研究結果は、診療報酬の改訂に反映されたり、自治体の事業として継続的に採用されてきたり、保健・医療職の働き方を変えたりしてきました

ご関心のある方は、教室HPを閲覧いただくか、地域看護学教室連絡先(chiiki-office@umin.ac.jp)までお気軽にご連絡ください。

最近の研究活動例

教室員紹介

地域在宅医療

- ・ 病院看護師の退院支援効果の測定尺度開発
- ・ 退院支援システムの標準化に向けた支援内容の分析
- ・ 介護保険利用が住民の入院発生率に及ぼす影響の分析
- ・ 訪問看護・介護職者の就労環境改善プログラムの開発

子育て

- ・ 児童虐待予防のためのグループ支援方法の開発
- ・ NICUに入院中の児を持つ親に対する支援方法の開発

メンタルヘルス

- ・ 精神障がい者の家族のサポートグループ等の支援
- ・ 精神障がい者の家族ピア教育プログラムの評価研究

高齢者の医療・介護

- ・ 地域在住要介護高齢者のサービスニーズの特定
- ・ 終末期の療養場所に関する現状調査

被災地支援

- ・ 仮設住宅住民の健康状況把握と関連要因の探索
- ・ 介護予防を目的とした町独自の体操製作
- ・ (東日本大震災救援・復興支援プロジェクトに参加)

保健師の支援技術の開発

- ・ 保健師が行う育児支援技術の明確化
- ・ 未治療の住民を治療につなげる技術の評価・改善
- ・ 個人やコミュニティを育てるグループ支援技術の開発研究



准教授 永田 智子 Satoko Nagata, PhD, RN, PHN

研究テーマ：
退院支援、在宅ケアなど

ひとこと：
誰でもいつでも、その人に合った場で、その人に合ったケアを受けながら暮らせる社会をめざして、研究を重ねていきたいと思っています。

助教 成瀬 昂 Takashi Naruse, PhD, RN, PHN

研究テーマ：
在宅医療、地域包括ケアシステムなど

ひとこと：
地域で暮らす人々を支えるために、システムと専門職、それぞれのあるべき姿を追求しています。ケアを受ける人と提供する人と、どちらも心地よい社会を作りたいと考えています。



助教 蔭山 正子 Masako Kageyama, PhD, RN, PHN

研究テーマ：
グループ支援、精神障がい者家族支援、保健師の支援技術

ひとこと：
保健師の仕事の奥深さ、高度な支援技術、揺るがない信念などを言語化し、客観的に示せるように研究していきたいです。

- 准教授 永田 智子
- 助教 成瀬 昂
- 蔭山 正子
- 飯坂 真司 (兼務)
- 特任助教 御子 柴直子
- 院生 13名
- 卒論生 3名
- 事務 3名

